

CASBEE[®]-戸建(新築)


評価結果

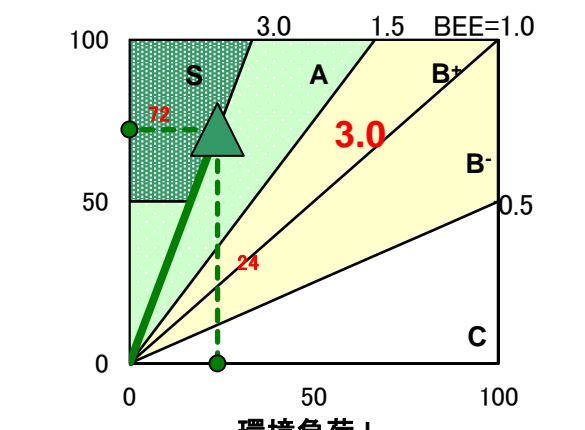
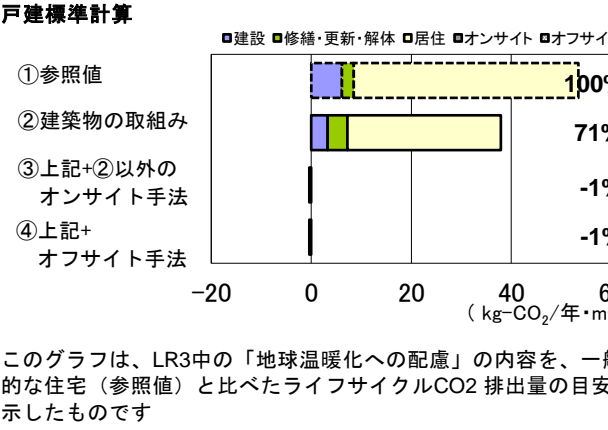
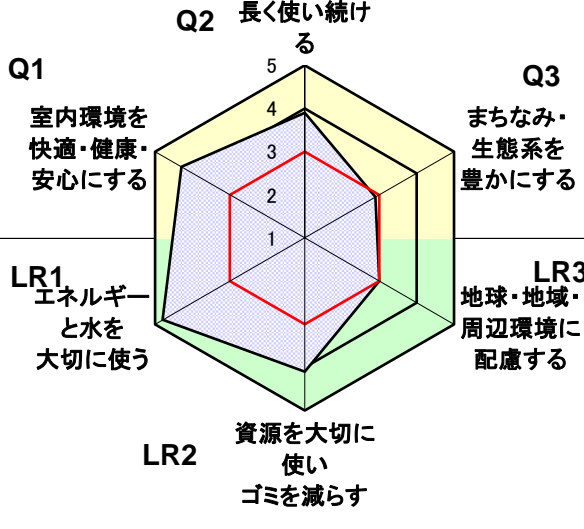
■使用評価マニュアル:

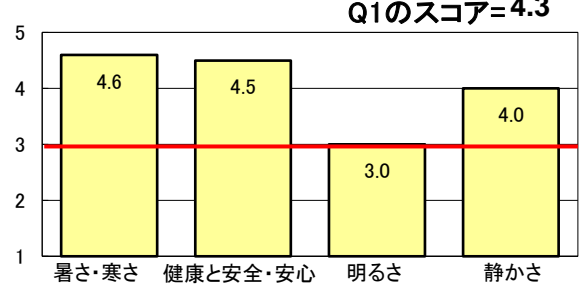
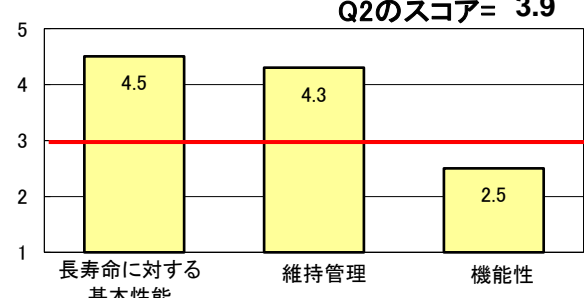
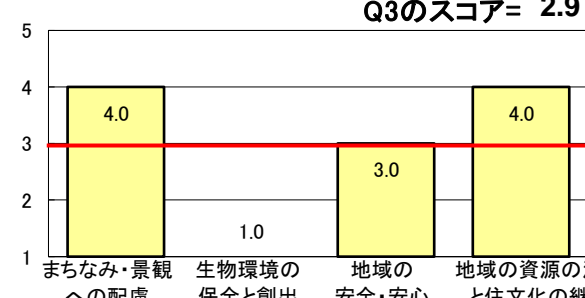
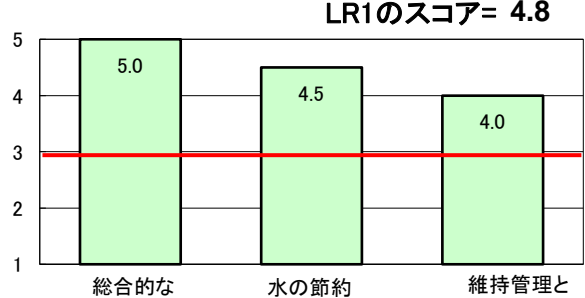
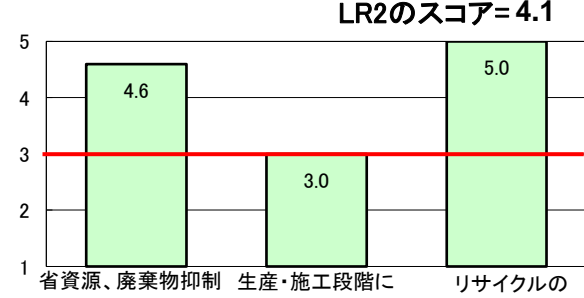
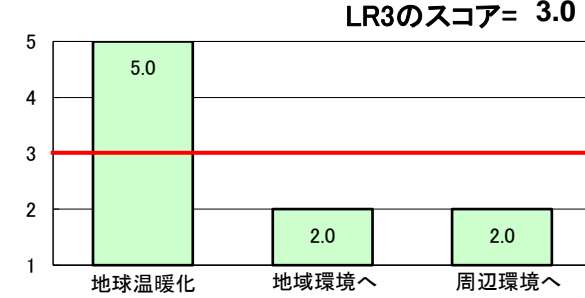
CASBEE-戸建(新築) 2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC_2018v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	池山モデル		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 確定
竣工年月	2020年3月	竣工	<備考> ・現場竣工済みで家電も設置済み		
建設地	長崎県西彼杵郡長与町				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定	評価の実施日	2020年10月1日	
省エネルギー-地域区分	7 地域		作成者	黒田 真	
構造・構法	木造・在来工法	確定	確認日	2020年10月1日	
階数	地上2階建		確認者	黒田 真	
敷地面積	253 m ²	確定			
建築面積	63 m ²	確定			
延床面積	106.82 m ²				
世帯人数	4	仮			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE 3.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C:</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 3.8</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q1のスコア = 4.3</p> 	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q2のスコア = 3.9</p> 	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>Q3のスコア = 2.9</p> 
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 4.0</p>		
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR1のスコア = 4.8</p> 	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR2のスコア = 4.1</p> 	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>LR3のスコア = 3.0</p> 

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>2050年を見据えた住宅として、HEAT20 G2以下、LCCMレベルのCO₂対策、また、IoTを活用し、今後の生活の変化を提案。、現在、増加傾向にある災害に対応できるように耐震等級3を基盤として、蓄電池、EV用の充電器を採用し、万が一があっても自宅で自立できるうに、車両においても活用ができる住宅としております。また、住宅の性能を活かし、エアコン2台で全館空調を可能にし、快適性も備えた設備としました。『LCCMレジリエンス住宅』として、今後、認知を広めていきます。</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>HEAT20 G2レベルを満たす断熱仕様・ハニカムシェード、外部シェードを採用した日射調整への考慮。また、室温を夏場26~28°、冬場22~24°を保てるように住宅の性能を活かした全館空調として、『階段エアコン』『床下エアコン』を採用し、2台で全館空調を可能としました。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>認定長期優良住宅を取得しながら、耐久性能の高い商材を採用。定期的な点検によるメンテナンスと共にメンテナンス費用もなるべく掛からなくて済むように工夫しています。『住む』『住み続ける』『住み継ぐ』をコンセプトに住宅自体の耐久性ではなく今後変化する生活に寄り添った柔軟的な採用としました。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>高性能、最新の設備を採用しながらも、外観は地域を損なうようにせず、一般の住宅と変わりなく まちなみに溶け込めるようにしました。住宅を売却する際にも、奇抜なデザインや間取りは、売りにくいため一般的な間取りにあえてしております。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>エネルギー対策としては、基本はエネルギーを使わずに済むように住宅自体を省エネ化し、使うにしても自立できるように太陽光発電だけではなく、蓄電池も設置。エネルギー制御もHEMSを活用しながら、スマートスピーカーと連動し、一括でON、OFFができるようにし工夫しています。水に関しても全ての水栓器具</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>採用されている商品は基本的に耐久性が高いものを採用していますが、それにプラス リサイクルできる商品を多く採用して、壊した後の環境に対することも考えて商品を選んでおります。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>地球規模の温暖化において、今、住宅で最も対応できるLCCM住宅を建築し、地球に優しい住宅を元に地域、周辺地域へも その恩恵が受けられるようにしていきたいと考えています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)